

5. 連結資金収支計算書

紀の川市の連結資金収支計算書の要旨は以下のとおりとなっています。

資金収支計算書とは、コストではなく、あくまで現金ベースで1年間の資金の流れ、収支をみるもので、市の歳出をその性質に応じて「経常的支出」「公共資産整備支出」「投資・財務的支出」の3つに区分し、それに対応する財源収入を表した財務書類です。

なお、普通会計単独の資金収支計算書と、連結資金収支計算書の普通会計の数値が異なっています。普通会計の資金収支計算書では、歳計現金のみが資金の対象となり、財政調整基金と減債基金は資金の対象外となっていますが、連結資金収支計算書では、財政調整基金と減債基金についても対象としているためです。
(詳細は24ページ参照)

連結資金収支計算書の要旨

〔 自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日 〕

(単位:百万円、倍)

1 経常的収支の部	普通会計 (A)	公営事業 会計	一組・ 広域	公社・ 3セク	相殺消去	合計 (B)	連単倍率 B/A
経常的支出	16,461	14,969	10,609	888	4,484	38,443	2.3
経常的収入	21,666	15,704	11,177	1,167	4,714	45,000	2.1
経常的収支額(A)	5,205	735	568	279	230	6,557	
2 公共資産整備収支の部	普通会計	公営事業 会計	一組・ 広域	公社・ 3セク	相殺消去	合計	連単倍率 B/A
公共資産整備支出合計	3,152	2,029	126	7	150	5,164	1.6
公共資産整備収入合計	2,476	1,900	95	0	103	4,368	1.8
公共資産整備収支額(B)	676	129	31	7	47	796	
3 投資・財務的収支の部	普通会計	公営事業 会計	一組・ 広域	公社・ 3セク	相殺消去	合計	連単倍率 B/A
投資・財務的支出合計	6,454	617	566	7,553	5,655	9,535	1.5
投資・財務的収入合計	1,978	110	218	7,330	5,472	4,164	2.1
投資・財務的収支額(C)	4,476	507	348	223	183	5,371	
当年度資金増減額(A)+(B)+(C)	53	99	189	49	0	390	
期首資金残高	5,601	2,996	307	153	0	9,057	1.6
期末資金残高	5,654	3,095	496	202	0	9,447	1.7

紀の川市の平成20年度連結決算においては、経常的収支が6,557百万円の黒字、公共資産整備収支が796百万円の赤字、投資・財務的収支が5,371百万円の赤字となっています。そして最終的に、期末資金残高が期首残高に比べ、390百万円増加しました。

経常的収支の部では、公営事業会計では国民健康保険事業、介護保険事業など、一組・広域では和歌山県後期高齢者医療連合や公立那賀病院などで資金の動きが大きく、経常的支出の連単倍率が2.3倍となっています。

また、公共資産整備収支の部では、公営事業会計で2,029百万円が計上されています。現在、進められています下水道事業関係1,901百万円が主な要因です。

投資・財務的収支の部では、公社・三セクでの金額が大きくなっています。これは、土地開発公社の借入金を年度末に借換えを行っているためです。市との借換え分については、連結団体内での資金の動きですので相殺消去欄にて減額しています。